



伊藤 千春 議員 無会派

問 学校部活動の地域展開実行を

答 未来へつなぐ部活動を目指す

○学校部活動の地域展開実行に向けて、以下を問う。

問 地域展開でできることは。

答 〔教育部長〕スポーツ提供、地域住民と交流。

問 総合型地域スポーツに対する考えは。

答 部活動の受け皿として地域団体と連携し協議している。

問 平日・休日指導に対する考えは。

答 同じ価値観や目標に基づいた指導に努める。

問 教員に頼らない指導体制の現状は。

答 専門的指導スキルを持つ人をスポーツ団体と連携し人材確保。

問 指導者の質の確保と資格に対する考えは。

答 継続的な研修機会を実施。海部地域全体で指導者研修を検討している。

問 新しく身につくスキルの期待は。

答 豊かな人間関係の醸成、多面的な成長を期待。

問 受益者負担か公費かの考えは。

答 地域展開クラブは原則、参加者負担。

問 今後の進め方は。

答 個別の競技団体と連携強化、地域展開受け皿となる団体や指導者の確保。

問 教育長の考えは。

答 〔教育長〕地域の資源を活用し、多様なスポーツ活動を通じて成長する環境で健全な心身の育成に役立つ。



▲部活動の様子

問 命と暮らしを守る道づくりを

答 道路維持管理補修を優先する

○道路陥没について、以下を問う。

問 愛知県地下占用物連絡会議の概要は。

答 〔建設部長〕道路管理者と地下占用事業者が、相互の点検計画と結果を共有。

問 今後の予定は。

答 道路管理者の調査結果を占用者に情報提供。

問 本市の過去5年の道路陥没発生件数は。

答 116件。

問 道路陥没の主たる原因は。

答 道路と隣接する水路や道路側溝の老朽化。

問 最大規模の内容は。

答 農業用水管から漏水が原因で土砂が流出。

問 周辺住民、交通、生活への影響は。

答 避難が必要な場合もある。

問 リスクを減らす対策は。

答 週3日の道路等清掃業務を通じ、道路点検、維持管理を行う。
また、橋梁は5年に一度点検。

問 情報連携は。

答 他機関と情報共有、迅速かつ適切に対応。

問 予算措置は。

答 限られた財源を効率的に配分。

問 今後の陥没対策は。

答 交通インフラの維持管理や補修は優先的に取り組む。



▲市内道路陥没事例